■荻原重秀　　将軍綱吉時代に革命的手腕で財政難を救い元禄文化を実現するも，綱吉死去後，新井白石の弾劾により失脚し憤死。
おぎわらしげひで
人身売買禁止1658＝　　いわゆる_″明暦の大火″の翌年，両国橋詰近くの武家屋敷の一角で，武田信玄遺 臣を祖とする下級旗本ながら，代々経済官僚として徳川氏に仕え，残物奉行となっていた荻原種重の次男に生まれる。

殉死の禁止・1663＝ 5歳：この年，22も年上の兄成重が勘定役人嫡男としては珍しく武官である大番入り。

_生まれながらに記憶力抜群で頭脳明晰ながら，次男であったため，継ぐべき役職が無かったが，
酒井忠清大老1666＝ 8歳：
入鉄砲出女令1667＝ 9歳：

_″明暦の大火″以降，幕府は，江戸城天守閣の再建を放棄してまで，江戸の町の復興に努めるも，頼ってきた佐渡の金や石見の銀など幕府直轄の鉱山は枯渇しつつあったため，財政が危機的状況になり，
・・・・・・1671＝13歳：異腹に弟が誕生。この年，兄の嫡男がわずか7歳で将軍に御目見。この年，河村瑞賢が江戸回送に成功するなど，日本経済の発展を見ながら育ち，

・・・・・・1674＝16歳：*財政再建の最前線に立つ勘定所が，開府以来そのままになっていた天領からの年貢400万石について，その後に大きく進んだ新田開発があると″検地″を実施すべく，50人余の職員のところに，突然，30余人もの新人を採用することになり，その一員になって，幸運にも役職を得る。
・・・・・・1676＝18歳：_検地を実施しようにも，もともと豊臣方に属していた土豪たちを祖とする代官らは，もっぱら村役人らと馴れ合っていて，彼らに検地させるのは意味が無いと気づき，検地を，何の損得の無い第三者’天領の隣の大名’にして貰うという案を出して，いわゆる″延宝の畿内総検地″が始まり，
越後騒動・・1679＝21歳：_″延宝の総検地″が一段落，年貢高の大幅増を実現して，4代将軍家綱から拝謁と褒賞の栄誉受けた七人のうち最年少であった。″延宝の検地″も，結局，代官らの抵抗によって，実際に収められるものは前と同じであったことから，不良代官に業を煮やして，その後も，摘発に熱心に取組んできたこともあって，
徳川綱吉将軍1680＝22歳：この年，_同じ思いを抱いてき，新たに5代将軍となるや，悪徳代官摘発の命を下し徳川綱吉により，
天下一禁止・1681＝23歳：_上野沼田城主真田信利の改易に伴なう城収公派遣団の一員に抜擢され，
八百屋お七・1683＝25歳：_異例の若年で，勘定組頭となると同時に，代官摘発の全権を与えられる。早速，代官2人を″賄賂″と″年貢滞納″で罷免，その余波は，上司にまで及び，勘定頭3人と吟味役1人も解任された。各所に潜む″淀み″を無くして好循環を生み出して行くのである。
堀田正俊暗殺1684＝26歳：
出世景清初演1685＝27歳：
生類憐令始・1687＝29歳：*総代官の会計検査に特命され，素早く大きな成果を賞されて，勘定所ナンバー2の勘定吟味役に進む。
・・・・・・1689＝31歳：さらに200石加増され，750石となる。
湯島聖堂・・1690＝32歳：兄が大番組頭に昇進。_今度は金に眼を付け，望んで佐渡奉行兼務になると，
別子銅山始・1691＝33歳：_現地に赴いて，掘り進んで地中深くになり，地下水問題で掘削の成果があがらない金山に，水抜きのトンネルを造れば良いと，大規模排水路工事を中心とする，抜本的改革の路線を敷いて，江戸に戻る。以後，失脚するまで，兼務し続ける。この年，父が死去。
世間胸算用・1692＝34歳：この年，嫡男が将軍に御目見。また，のちに敵となる新井白石が堀田家を辞して浪人生活に入る。
芭蕉+師宣没 1694＝36歳：
生類憐令頂点1695＝37歳：_幕府の財政難の根本原因は，当初より，収入すなわち年貢米と金の額に対し，支出すなわち人件費，城や御殿の修理費，将軍や大奥の調度品等の額が上回っていて，蓄えを崩して赤字を補ってきたものの，綱吉が将軍になって旗本その他の人件費が急増，いよいよ限界に近づいて，側用人柳沢吉保，老中阿部正武から相談され，鋳造手数料が入らず経営難の金貸し元の商人双方の問題を一挙に解決すべく，今や幕府の信用は絶大になっており，’貨幣は国家が造る所，瓦礫をもってこれに代えるといえどもまさし行うべし’と，開府以来流通している慶長小判の金の量(ともに同額と実質商品価値になっていた)を大幅に減らす前例の無い貨幣改鋳を建議して，いわゆる″元禄の改鋳″が行われ，一挙に解決。そこ功で，
荻原勘定奉行1696＝38歳：*ついにトップの勘定奉行に栄進。
_それまで市中では貨幣不足で慢性的デフレ状態だったところ，公慶による東大寺大仏殿再興勧進が隆光を介して将軍家にも及ぶと，計画縮小条件に全面的にサポートするなど，幕府は次々公共事業を実施，貨幣は市中に出回り，好景気となって，いわゆる″元禄文化″が華開くのである。長崎貿易の改革に着手し，並行して元禄検地を実施し，土地所有の近代化により，幕臣の給与システムを大改革，
・・・・・・1699＝41歳：_自ら，長崎に乗り込み，長崎会所による幕府直轄化を実現。
・・・・・・1700＝42歳：_佐渡においては，排水溝が完成，生産量が持ち直し，以後，しばらくの間，佐渡は好景気に沸き立ち，もともと甘かった年貢徴収を，検地によって8割をも増加させることによって，現在貨で113億円もの資本を投下，新たな鉱脈も見つかり，佐渡は再び好況に沸き，’佐渡国中の者が万歳を叫んだ’と記録されている。銭が不足して相場が急騰したため，京都銭座で寛永通宝を鋳造させて需要に応じ，
松の廊下事件1701＝43歳：_大坂に銅座を設けて，銅の調達の一元化を図る。大仏殿再興に大名から賦課金の徴収に踏み切り，
赤穂浪士切腹1703＝45歳：_元禄大地震が起きて大災害になると，土木工事・河川浚渫工事などで対処，
富士宝永噴火1707＝49歳：_宝永の巨大地震，富士山大噴火と天変地異が続いて，幕府財政が大打撃も，大名への賦課金で凌ぎ，
ｼﾄﾞｯﾁ拘束・ 1708＝50歳：_大仏殿が完成。
徳川綱吉没・1709＝51歳：_将軍綱吉が死去し，家宣が新将軍になるも，勘定奉行を続けるが，
韓国併合・・1910＝52歳：幕府の正式な手続きを経ずに，緊急避難的に短期間に3度も改鋳したことなどから，
_力を得て来た儒学者新井白石一派から不倶戴天の敵と執拗にねらわれ，
乾山陶器店・1712＝54歳：_ついに，銀座商人摘発事件に連座して罷免され，
和漢三才図会1713＝55歳：_獄中で食を断って，憤死した。
重秀が貨幣の価値は国家が決めるものと改鋳を実行したのは，西洋において，改鋳ドイツの経済学者クナップが’貨幣の価値はその商品価値ではなく国家が法律で決めるもの’と規定した1905年より二百年以上も前であったことに驚かざるを得ない。

集英社新書「勘定奉行荻原重秀の生涯」，「日本史重要人物101」，「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，「日本の群像」，平凡社百科事典。NHK{先人たちの底力 知恵泉}の「荻原重秀 幕府財政を立て直せ!」で大幅追補。